

岐阜環境医学研究所・座禅洞診療所
呼吸器疾患・禁煙治療
診察日：月曜・木曜・金曜
時間：9：00～12：00

〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
IP Tel:050-5201-5567
FAX:058-296-3903
E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
http://zazendoh.town-web.net/

第61号 2009.3.1
毎月1回発行 座禅洞診療所 松井英介

座禅洞だより

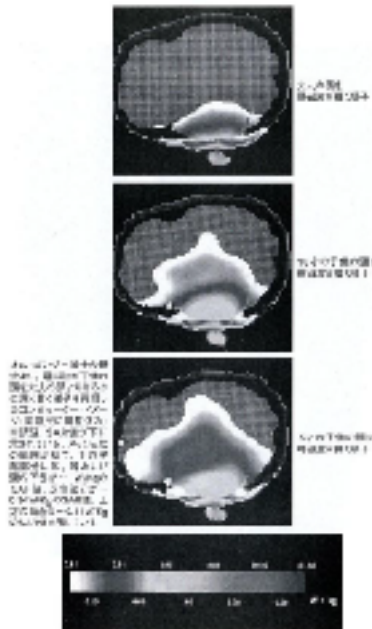
子どもと携帯電話

電磁波による健康障害 - 3 -

松井英介

携帯電話は、アンテナによってタワー（中継基地）との間で電磁波をやりとりする機械です。利用する電磁波は、8億から21億サイクルの高周波（マイクロ波）。携帯電話はアンテナを脳に近づけて使うので、携帯電話から放出される高周波の約半分は、脳や眼球など近くの臓器に吸収されます。

その結果、電磁波には熱集中効果（ホット・スポット効果）があるため、脳や眼球にさまざまな障害をもたらすと考えられています。その他、忘れてならないのは、携帯電話には、高周波と低周波を混ぜ合わせる変調技術が使われており、また複雑な電子回路から出るさまざまな周波数の低周波が混じっていることです。



ここで思い出していただきたいのは、光の物理学です。光の強さは「距離の二乗に反比例して弱く」なります。光は電磁波の一種ですから、携帯電話の高周波にも、光と同じ性質があります。つまり、脳にとどく電磁波の強さは、携帯電話と脳や眼球との距離が2倍になれば4分の1、5倍になれば25分の1になるわけです。携帯電話を脳や眼球に近づけて使うことによる障害を、考えな

（写真=ジョージ・カーロ&マーティン・シュラム著 荻野晃也監修・解説、高月園子訳「携帯電話 その電磁波は安全か」集英社、2001、から引用）

[レンギョウ] 中国原産の落葉低木。花期3～4月。果実を生薬レンギョウ(連翹)と称し、消炎、利尿、解毒、排膿を目的とした荊芥連翹湯などの漢方処方に配合される。成分としてオレアナン系トリテルペン、ルチン(rutin)などのフラボノイド配糖体を含む。
[参考写真(植物)]帝京大学薬学部ホームページより・http://www2.odn.ne.jp/~had26900/index.htm



(38)

春の元気

于海 (Yu Hai)

春のイメージといえば、やはり万物の成長が始まる時期だと思います。暖かい気候で、植物も動物も体が伸びやすい時です。

東洋医学では、春になると肝機能が活発になりはじめ、元気もやる気もここから出てくると考えます。少々酸味のあるものを食べると体に良いです。

ヒトや動植物だけでなく、微生物や病原菌も活発に活動を始めます。風邪の予防や病気の急変に気をつけた方が良いでしょう。酢、生姜汁、ニンニク、胡椒、葱などを使った食事を取り、元気を作りましょう。

(つづく)



ければならないというわけです。

もうひとつ重要な問題は、子どもの健康への影響です。子どもでは、おとなに比べてはるかに高い吸収比で、電磁波が脳や眼球に吸収されます。

図をご覧ください。おとなでは、電磁波の影響は携帯電話が接している側の脳に限られているのに、5歳の子どもの場合は反対側にまで、影響が及んでいることがわかります。

(以下、次号)